

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。



藤吉小学校5年
野田 真凛さん

笑顔あふれる世界へ

7月の初め、学校で人権集会があった。この集会の話で、今の世の中には、いじめや差別でたくさんの人々が苦しんでいるということを知った。

現在、世界中で新型コロナウイルスがはやっていて、みんなコロナウイルスの病気がかりたくないと思っ

ているし、わたしもかかっている。でも、気を付けて生活していても、コロナウイルスの病気がかかってしま

う人もいます。そのような人が、差別やいじめを受けているぞうだ。

わたしは、おかしいと思った。病気になる人は、命が危ないというほど、まわりの人の何倍も苦しい思い

をしている。そういった人たちが差別やいじめを受けるのは、とてもつらいと思う。

わたしは、なぜこのような差別が起こるのかという疑問がわき、差別やいじめ

をしている人の気持ちを考えてみた。差別やいじめを

している人、されている人も最初の気持ちはいっしょだったんじゃないかと思っ

た。コロナウイルスの病気にかかりたくないという思

いだ。そのかかりたくないという思いから、病気になる

人、や治った人に対して「近づくな。」など言ったと思う。

このように自分のことしか考えていない言葉や行動は、

お互いのいろいろな関係をくずしてしまう、とてもつ

らい思っている。わたしは、いじめがなくなるのかを考

えてみた。わたしは、相手の気持ちを思いやる言葉や行動が大事だと思った。コ

ロナウイルスの病気の場合、治った人はとてもつら

く、苦しんでいる。わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、

わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、

わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、

わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、わたしは、

【先生からのひと言】
今の世の中には、さまざま

な差別やいじめが存在しています。差別やいじめを

無くしていくためには、真凛さんのように、私たち一

人一人が「差別やいじめをしない」だけでではなく、「差別やいじめを許さない」という強い思いが大切です。



9 / 15
2021.No.393

広報やながわ
令和3年9月15日号
No.393

発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

復旧へ一歩ずつ前進

8月11日から降り出した雨は、市内各所につめ痕を残しました。市内の沿岸部には大量の流木やごみが漂着。雨が一時的に上がった8月18日早朝には、清掃作業が行われ、漁業関係者などが漂着物を回収しました。

CONTENTS	ページ
観測史上最多雨量を記録	2-3
スポーツ栄誉賞、ゆるり旅ほか	4-5
お知らせ掲示板	6-7
人権・同和教育シリーズ	8